

みんなの参加コーナー

赤ちゃん登場！



ふゆしば ひろ
冬柴 大くん
平成30年8月9日生
中手町



たにざわ そうや
谷澤奏弥くん
平成30年8月10日生
築地町



ながの しおん
長野心音くん
平成30年8月20日生
小垣江町



みづら そういちろう
三浦聡一郎くん
平成30年9月10日生
熊野町



ひらいし さや
平石彩椰ちゃん
平成30年9月13日生
一里山町



あさの なつこ
浅野菜津子ちゃん
平成30年9月18日生
小垣江町



かとう さら
加藤紗麗ちゃん
平成30年9月19日生
山池町



しま かずと
島 千登くん
平成30年9月24日生
東境町

ギャラリー



「みんなで踊ったよ」

やまもと なつ の
慈友保育園 5歳児 **山本菜津乃ちゃん**

みんなで線の上に乗って並んで、大きな口を開けて「わっしょい！」って言いながら踊ったよ。小さい子や先生がたくさん拍手してくれて嬉しかった。



「ゆめのキラキラしゃぼん」

こしや ひなた
住吉小学校 3年 **古謝陽向さん**

ふうっと魔法のストローでしゃぼん玉を吹いてみると、いろいろな色や形のしゃぼん玉ができました。ふんわりふわふわ、ハートやお花の形のキラキラしゃぼんが夢を運びます。

「こんにちは！」

「白秋献詩」文部科学大臣賞受賞

詩人の北原白秋をしのいで行われる白秋献詩で、作品「きみとわたしだけの秘密」が最高賞の文部科学大臣賞に選ばれた石川珠愛さん。

日常的に詩を書いているという石川さんは、小学生の時に所属していた合唱部で、楽譜の詩を読み込むことがきっかけで興味を持ち始めたそう。その中で谷川俊太郎さんの作品を読んだとき「ちょう



どいいバランスで心地よく、心ひかれ、詩が好きになっていきました」と話しました。

初めて詩を書いたのは、小学校の詩の授業。その時に「なんとなく楽しい」と思ってから、頭の中に良いフレーズが浮かぶとノートに言葉を書きためるように。そして、中学1年生の時の白秋献詩では佳作、2年生の時に二席に選ばれ、自信を深めていきました。

中学最後の献詩では「合唱曲のような詩を書きたい」と思い制作を開始。まずは言いたいことをフレーズで書き出し、つながりを意識しながら約2週間かけて完成。作品について「甘えや葛藤などの若い心から乖離し、自分の成長を知るといった内容の作品です」と話しました。完成したときは「良いものが書けた気がする」と思ったそう。しかし、最高賞の知らせを聞

いしかわ みたあ
石川 珠愛さん(刈谷東中3年)



いたときは「こんなに良い賞を頂けるなんて信じられない」とその時の驚きと感動を話してくれました。

才能豊かな石川さんは、詩だけでなく美術や音楽も得意。今後は、得意な分野を大学で専門的に学びたいと将来を見据えます。若き文才から次はどんな作品が生み出されるのか楽しみです。